

令和3年10月21日
国土交通省 新庄河川事務所
戸 沢 村

地域住民と『まるごと里ごとハザードマップ』を作成

～地域防災力の強化に向けた取り組み～

近年、局地的な豪雨や台風等により、全国各地において土砂災害等が頻発しています。

新庄河川事務所では、これらの自然災害から身を守るための取り組みの一つとして「まるごと里ごとハザードマップ※1」の作成を進めています。

今回は「避難の実動訓練」を、地域住民、大学の学識者、戸沢村等と合同で行います。

地域の住民自らが危険箇所を確認し、土砂災害から身を守るための行動が速やかにとれることを目的に、戸沢村滝ノ下地区において令和2年度から「まるごと里ごとハザードマップ※1」の作成に取り組んでいます。

今回は、前回（6月20日）までに検討した避難経路や避難方法、自主避難判断基準や避難情報発令時の行動を確認するための意思決定訓練を基に、避難経路を実際に歩きながら避難時の注意箇所等の確認と、前回以降に土砂災害警戒情報が出された際の実行動の検証を行います。

記

■実施内容：避難実動訓練、本年の土砂災害警戒情報（気象情報）発令時の行動検証

日 時：令和3年10月24日（日） 8：30～11：30

場 所：南部地区地域振興センター（山形県最上郡戸沢村角川582）

〔※滝ノ沢地区の避難実動訓練も行います。〕

■参加人員：戸沢村滝ノ下地区町内会、大学及び行政関係者 30名程度

（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで行います。）

※1) 国土交通省では、平成18年7月から生活空間である市街地に水災にかかる各種情報を洪水関連標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」を推進しています。これを基に新庄河川事務所では、土砂災害版として（仮称）「まるごと里ごとハザードマップ」と呼び、避難誘導標識の他に手作りの避難経路図の作成に取り組んでいます。

<発表記者会> 山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会

問い合わせ先



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

〒996-0071 新庄市小田島町5-55 TEL 0233 (22) 0262

副所長（砂防） 木村 晃（内線 205）

調査課長 土門 弘和（内線 351）



戸 沢 村

〒999-6401 最上郡戸沢村大字古口270 TEL 0233 (72) 1111

総務課 危機管理室 危機管理室長 小林 直樹